

御殿場市長 勝 又 正 美 様

新しい力を巻き込み、活力ある街を（提言）

昨年1月1日に能登半島地震が発災。令和6年は、このような劇的な状況の中、幕開けをした。世界に目を向ければ、国際情勢が不安定な状況であり、一方ではパリオリンピックの開催があり、世界に希望を与えた。

そのような中、我が「御殿場市議会経済環境委員会」の年間テーマは、「地域経済の活性化について」に決定した。委員会は、2月に御殿場市議会の改選もあり、7人の委員の中で3人が新人議員で構成された。

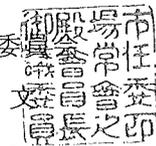
本委員会の活動として、まず身近である、富士山エコパーク、御殿場浄化センターの5月の視察を皮切りに、6月には、横須賀市のアーバンスポーツに基づいた、「うみかぜ公園整備事業」について、秦野市の「移住お試し住宅 TANZAWA LIFE（はだの丹沢ライフ応援事業）」について視察をした。また、10月には熊本県山鹿市で、「農業支援プロジェクト」について、同荒尾市では、「おもやいたクシー事業」について、同玉名市では、「玉名市未来プロジェクト賑わいのまちづくり 地域交流活性化支援事業」について、同熊本市では、「イノベーション創出プロジェクト」について視察をした。

人口減少や少子化が進む中、様々な施策を効率的に実施し、未来に継続できる礎の基盤を構築する責任の重要性を本市としても痛感した。また、持続可能な地域社会を継続していくためには様々な分野で「新しい力を巻き込んでいくことが必要不可欠である」と実感した。

地域活性化の推進にあたり、様々な分野において、社会変化に対応しながら、旧態依然の対応だけではなく、その時代に即応した新たな対応も常に求められている。また同時に未来へ、より良い地域社会の構築を多種多様な角度より推進・継続することが必要不可欠となっている。

以上を踏まえ、別紙のとおり提言をするものである。

御殿場市議会 経済環境委員会
委員長 勝間田 博
副委員長 永 井 誠
委 員 森 順
委 員 後 藤 真 弥
委 員 辻 川 公 子
委 員 勝 又 正 人
委 員 田 代 耕 一



新しい力を巻き込み、活力ある街づくりへの提言

提言 1. 地元企業への事業継承支援

- 製造業や中小企業向けに技術革新やDXを支援する仕組みづくり。
- 既存企業・既存商業店舗への事業継承支援。

提言 2. 未来を担う人材の育成

- 新規事業への創業支援プログラム構築（起業支援）
- スモールオフィスの整備を通じてスタートアップ事業の推進。
- 小中高連携した労働教育。

提言 3. 中心市街地活性化支援

- 御殿場100人ミライ会議から派生したプロジェクトへのさらなる支援。
- 市内横断的プロジェクトチームの見直し創出。
- 駅前イベントスペースの有効活用及び空き店舗でのチャレンジショップの推進。

提言 4. 人材確保

- UIJターンの促進。
- 人材マッチングの促進。
- 若者の主体性の尊重。

提言 5. 地場産業の振興の推進

- 農業と観光の融合と推進。
- 地元農産物の直売所等の推進。
- 農業体験等を通じた地域ブランドの確立。
- 富士山眺望の絶景を活かした富士山麓の自然体験及び体験型ツアー等の提供。